

教科名	音 楽	科目名	音楽理論（3年次）【2単位】	
授業形態	講義形式での授業展開			
選んでほしい生徒	音楽Ⅰを履修した者及び2、3年次と継続履修することが望ましい。音大・短大進学希望者は履修することが望ましい。			
科目の目標	音楽に関する基礎的な理論を理解させるとともに、表現と鑑賞に活用する能力を養う。			
身に付けてほしい学力	四年制音楽大学、短大及び音楽系専門学校受験に対応できる高度な知識の習得を目指す。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<b>【1学期】</b> 音程 音階 調性 移調 <b>【2学期】</b> 和音 音の装飾 用語 楽曲の形式 <b>【3学期】</b> 楽曲の形式 一年間のまとめ		・音楽の仕組みや、音程・音階・調性・移調の問題の解法を身に付けていく。  ・和音の問題の解法を身に付けていく。 ・奏法・用語・楽曲の形式を講義形式、実技形式、鑑賞によって学習する。  ・2学期より引き続き、楽曲の形式を講義形式、実技形式、鑑賞によって学習する。	
評価の観点・評価方法	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	・音楽を愛好し、音楽の理論や音楽の仕組みに関心を持ち、意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。	・音楽に関する基礎的な理論を理解することで、楽曲の形式にふさわしい音楽表現について考察し、表現活動に活用できる能力を持っている。	・音楽に関する基礎的な理論を理解することで、多様な音楽を表現するために必要な技術を考察し、表現活動に活用できる能力を持っている。	・音楽に関する基礎的な理論を理解することで、音楽や音楽文化に対する理解を深め、創造的な鑑賞活動に活用できる能力を持っている。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、提出物、授業態度を総合的に判断して評価する。			
学習のアドバイス	1 毎時間の進度が速いので、休まず授業に出席して知識の習得に努めたい。 2 定期考査では、範囲が広いので、日ごろから予習と復習に努めて、苦手な分野をつくらないようにしたい。			
教材費	3, 265円（楽典 音楽之友社）			
その他	1 何かの検定につながることはない。 2 音楽大学受験のための学習が主であるが、それ以外の生徒の選択も可能である。 3 音楽の理論などを幅広く学習する。			